

Okayama Research Park Incubation Center

## ORIC NEWS

翔飛

ひし  
よう

入居企業紹介 株式会社 Cognitech. DEV



## 【会社概要】

&lt;社名&gt;株式会社 Cognitech. DEV

&lt;創業&gt;2024年6月

&lt;事業内容&gt;

- ・AI技術の研究開発・応用
- ・ロボティクスの研究開発・応用
- ・AIの実用のコンサルティング



## AI 社員

名前：Aira（エイラ）

得意分野：営業支援、業務効率化など

性格イメージ：分かりやすく伝えるのが得意

AI技術、特に生成AI（ChatGPTなど）は、業務の効率化や新しい働き方の創出を促進し、人とテクノロジーの融合を加速させています。かつて専門家向けだった高度な技術も、今では誰でも簡単に活用できる時代となり、企業の成長に欠かせない要素となっています。

弊社は、社内に点在するマニュアル、議事録などの情報を整理・統合し、必要な情報にすぐアクセスできる環境を構築するサービス「Heir-RAG（ヘアラグ）」を提供しています。このサービスを導入することで、社員は「今、必要な情報」に素早くアクセスできるだけでなく、関連情報も横断的に統合・分析し、分かりやすい形で提示することが可能になり、業務の効率化や情報の属人化の解消につながります。

Heir-RAGは、その働きぶりがまるで優秀な社員のようなことから、私たちはこの仕組みを「AI社員 Aira（エイラ）」という親しみやすいキャラクターで表現しています。AI技術を一から学んで使うのではなく、御社の業務や目的に応じて、最も使いやすい形でご提供することが可能です。現場で“すぐに役立つAI社員”として、必要な情報や機能だけをご提供いたします。

## — 本号の主な内容 及び ORIC 連絡先 —

入居企業紹介 (株式会社 Cognitech.DEV)  
(株式会社誠報堂)

No.88

飛翔発行元：岡山リサーチパークインキュベーションセンター  
〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀 5303  
TEL：086-286-9116 E-mail：[info@oric.ne.jp](mailto:info@oric.ne.jp)

OKAYAMA  
RESEARCHPARK  
INCUBATION  
CENTER



ORIC HP

# 入居企業紹介 株式会社 Cognitech.DEV

## 会社概要

株式会社 Cognitech.DEV（コグニテック・ドット・ディーイーヴィ）は、2024年に設立された、AI・ロボティクス技術を活用するITソリューション企業です。技術担当者はAI・自動化・ロボティクスにおける豊富な実務経験を持ち、要件定義からPoC（概念実証）、導入・運用まで現場目線での支援をしています。

- 事業領域：AI、ロボティクス、クラウド、ソフトウェア開発、データ分析
- 強み：迅速な実装力、データ構造化、高度な最適化（チューニング）
- ミッション：技術で現場の「分かりにくさ」を「使える知」へ変える

## 事業内容

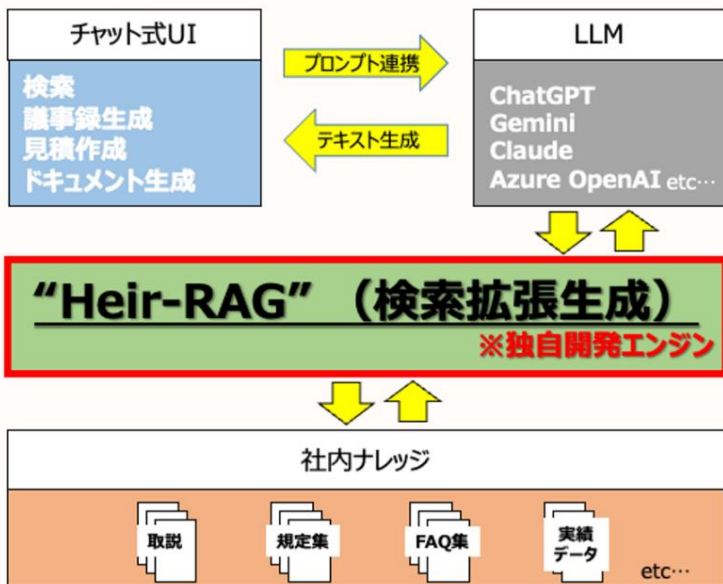
1. AI・機械学習導入支援：自然言語処理、画像認識、予測分析、データ前処理、モデルチューニング
2. クラウド・アプリケーション開発：AWSなどを活用したクラウド設計とWeb/モバイルアプリ開発
3. データ分析・可視化：パイプライン構築、BIツール連携、KPI可視化の支援
4. DXコンサルティング：要件定義、PoC設計、現場導入・定着までの技術支援

## ■ 要件定義の重要性と当社の強み

AIやロボティクスの導入では、初期の要件定義が成功の鍵です。単なる技術導入ではなく、実運用まで見据えた現実的な設計が必要です。当社の技術者は、多業界・多言語に対応可能であり、海外製品や技術も積極的に活用しています。その豊富な経験を活かし、最適な要件定義と的確な技術判断により、開発におけるコストや手戻りを最小限に抑えます。



## システム構成



## Heir-RAG (へアラグ) のシステム構成図

御社でAIを活用した自動化や販路開拓をご検討中であれば、ぜひ一度お話を聞かせください。現状の課題を伺い、当社の技術との連携可能性をご提案させていただきます。

## ■ 「Heir-RAG」のご提案

当社は現在、商社と連携し、AIシステム「Heir-RAG (へアラグ)」の提案活動を進めています。Heir-RAGは、社内に蓄積された技術資料、ノウハウを構造化・データ化し、独自開発の検索拡張エンジンにより、誰でも簡単に必要な情報を検索・活用できるようにするシステムです。これにより、製造現場の生産性向上や省人化の実現に貢献します。

さらに今後は、センサー連携や稼働状況のモニタリングなど、IoT技術との統合も視野に入れ、ハード×ソフト×IoTが連動する高度な現場支援体制を構築していきます。

## 株式会社 Cognitech.DEV

岡山市北区芳賀 5303 ORIC 209 室

E-mail: info@cognitech.dev

ホームページ: www.cognitech.dev

# 入居企業紹介 株式会社誠報堂

## 【会社概要】

弊社は2022年に創業しました。高性能・高機能な独自のプラスチック材料を開発・製造し市場に提供することを目的としています。それ以外に、顕微鏡や、プラスチック材料開発機器等の販売も行っています。

## 【当社プラスチック材料の狙い所】

弊社が開発するプラスチック材料は、高性能、高機能なもので、当社しか作れないような材料です。ニッチなニーズを掘り起こせるような材料をターゲットとして開発を進めています。

石油化学工業に属するプラスチック材料、特にベースとなる樹脂についてはほぼ垂直統合型の材料であり、基盤となっているそれぞれの石油化学コンビナートの特性（プラスチックの原料として何が使えるか？）に強く依存しているため、簡単にどんな種類のプラスチック材料でも作れるというものではありません。そのほか、巨大な設備では多少の条件変更なども難しいことが多く、プラスチック材料設計の振幅は大きくありません。その結果、どうしても多様性が乏しくなってしまいます。

一方、現在、あらゆるものが多様化し市場が「ロングテール化」して、ニッチなニーズに対応したニッチな製品が市場を席卷するようになりました。これはご存じの通り、ニッチなニーズとニッチな製品のマッチングがITの普及で非常に容易になったことに因ります。

巨大なニーズがある材料は巨大な石油化学コンビナートを有する大企業にお任せし、当社では、ロングテールな市場を狙える超ニッチなプラスチック材料に狙いを絞っています。

## 【当社の技術】

「これまで実現できなかったプラスチック材料を作る」という命題に対し、当社は溶剤を最大限に活用する方法により実現しようとしています。溶剤といっても従来の概念を超えた活用方法を採用しており、当社ではこれを「メディエーター法」と呼んでいます。

一般的に、溶剤を用いてプラスチックを製造・成形するとなると、高コストや廃溶剤の問題、生産性の低さなどが問題となり、方法としては「論外」という判断になるのが普通です。一方、「メディエーター法」では、溶剤は極限までリサイクル利用すること、プラスチックの融点以下の低温で処理ができること、溶剤とプラスチックの間の化学親和力を有効活用すること、及び、高効率熱交換の技術により、低コスト・低エネルギー・低環境負荷で新材料を創出する有効な手段となり得ます。

ほぼ前例が無い方法により製造・成形されるため、必然的に、新しい性質を持ったプラスチック材料が生み出されることとなります。生産性が低いことはあまり改善できませんが、ニッチな用途向けを前提とした場合にはその欠点も致命傷とはならないでしょう。

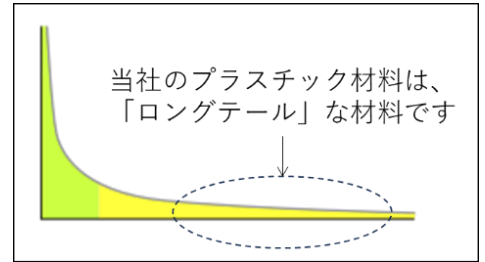


図1 ロングテールの概念図  
(出典：Wikipedia)

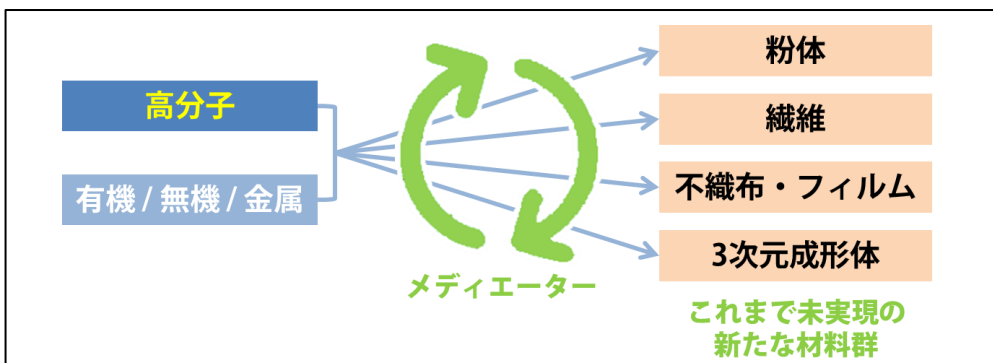


図2 メディエーター法によるプラスチック材料製造のイメージ図

# 入居企業紹介 株式会社誠報堂

図2 に示すように、メディエーター法では、プラスチック（高分子）と、その他の有機物や無機物を組み合わせ、粉体、繊維などの種々の形態の材料を得ることが出来ます。また、一般的な熱成形法に比較して、図3 に示すようなメリットも種々持っており、これまでは実現できなかったような材料を実現することが可能になります。

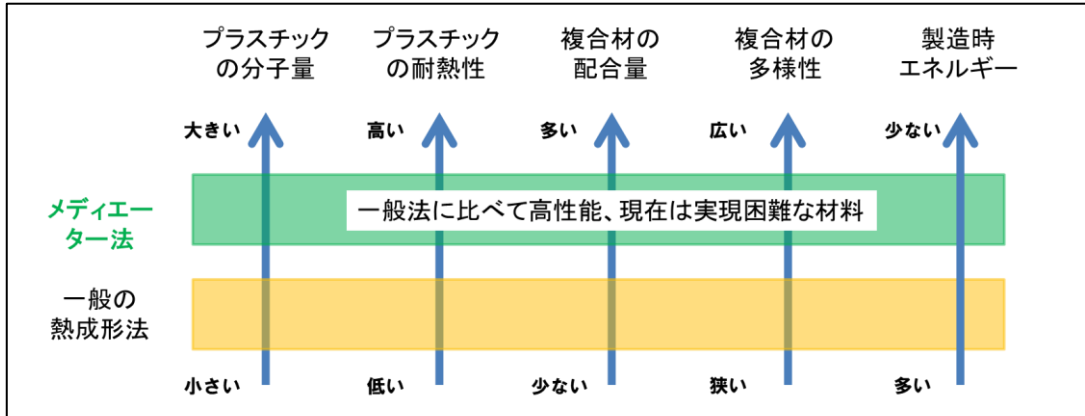


図3 メディエーター法のメリット

## 【これまでの開発例】

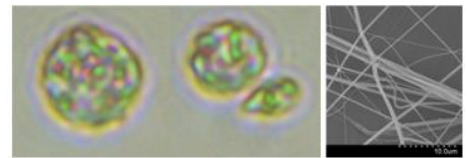
### 1) 粉体の例

粉体は比較的製造しやすい対象です。プラスチック単体、あるいは、無機物などの複合化により様々な特徴を持った粉体を製造することが可能です。SLS 方式 3D プリンタ用素材、塗料、樹脂用添加物、その他の機能性粉体などの用途を想定しています。



### 2) ナノ繊維の例

ナノ繊維、及び、ナノ繊維不織布も比較的製造しやすい対象です。プラスチック成分と共に使用する添加物の選択により、種々の機能を付与したフィルターなどの用途を想定しています。



### 3) 木質プラスチック材料の例

木粉やその他のバイオマスと複合できるプラスチックは、ポリエチレンなどごく一部にすぎません。メディエーター法ではPETなど従来は不可能だったプラスチックとの複合化も可能になります。



## 【今後の展望】

本年度中には、粉体プラスチック材料を最初の製品として公開することを目標にしています。超ニッチな材料ですので国内のみならず海外に向けてWebサイトで効果的に情報を発信してゆくことを考えています。

また、製造方法も超ニッチでこのような方法は大企業自身では実施しづらいものですので、むしろ大企業と連携した相補的なやり方も有効と考え、そのような動きもしていきたいと考えています。



seihodo

株式会社 誠報堂 / Seihodo Co., Ltd.

住所：岡山県岡山市北区芳賀 5303 ORIC 107 号室

TEL : 050-5236-6430

代表取締役：岡 文恵